

# ウサギとカメの トライ

原案／兼松由香

## 教材コンセプトシート

### ●主な対象

小学校5～6年

### ●ねらい

自分の特徴を知り個性を伸ばすとともに、友達と互いに信頼し、人間関係を築いていくこと。また、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努められるようになることなどを学ぶ。

### ●取り扱うテーマ・キーワード

多様性、尊重、助け合い、個性の伸長、友情、信頼、よりよい学校生活

## 教材活用ガイド

### ●いつ

- ・年度のはじめ
- ・学級開きや班編成直後
- ・夏休みなどの長期休暇明けなど

### ●指導・活動時間の目安

- ・特別活動・学級活動などで1時間など

### ●関連

道徳…「向上心、個性の伸長」「友情、信頼」  
「よりよい学校生活、集団生活の充実」

特別活動…学級や学校における生活づくりへの参画

### ●工夫・協力

動物に例えた自己紹介を行う など

段階

学習活動

教材内容と指導上の留意点

※赤丸数字は縮小紙面と対応

導入 (10分)

【ウォームアップ】(5分) ラグビーのルールやポジションについての動画を視聴し、ラグビーについての基本的な知識を知るとともに、興味・関心を高める。

●活動1 (5分) 【1st TRY】自分を動物に例えて、自己紹介文をつくる。

●活動2 (10分) 【2nd TRY】『ウサギとカメのトライ』の物語を、登場人物の気持ちを考えながら読む。

●活動3 (15分) 【3rd TRY】物語を読んだことを踏まえて、考えたり話し合ったりする。
① [リオの仲間たちの気持ちになって] ボールを落としたリオにどんな言葉をかけるか (A)
② [初めてトライをしたヒカルの気持ちになって] リオになんと言うか (B)
③ [リオの気持ちになって] ②で考えたヒカルの言葉を聞いてどう思うか。

※時間があれば「プラス1」に取り組むとよい。

学級のために、自分の特長をどう活かすかを考える。

① 【1st TRY】で考えた自己紹介に、学級のために生かせそうな自分の特長を加えた自己紹介文を考える。
② グループでお互いに自己紹介をする。

まとめ (10分)

ラグビー教材① ウサギとカメのトライ
1. 1st TRY: あなた自身を生き物に例えたら、次のどれに当たりますか? 自分のよいところを考えて、選んでみましょう。
動物のイラストと説明表あり。

2. 2nd TRY: あるラグビースクールの物語です。メンバーの一人になった気持ちで読んでみましょう。
物語の場面説明とキャラクター紹介あり。

3. 3rd TRY: 物語を読んでどんな感想を持ちましたか? 次のことを考えたり、話し合ったりしてみましょう。
⑤ ⑥ ⑦ 質問あり。
プラス1: 学習を通して考えた「自分のよいところ」は、学級でどう活かしていけそうですか。

① 日本ラグビーフットボール協会のウェブサイトで公開している。ホワイトリスト方式の場合は、事前に閲覧できるように準備しておくことよい。

② いくつかの動物を例に出し、それぞれによいところ(または他と違うところ)があることに気づかせる(例:チーター→足が速い、カメ→水の中で活動できるなど)。

- ・「よいところ」は、外見や身体能力だけでなく、内面的なこと(例:優しい)も含まれることを補足する。
・例示された動物以外を例示してもよい。

③ 導入で見たラグビーのルールを思い出しながらかよむとよい。

④ 登場人物の性別や国籍などの質問があった場合は、「物語からは読み取れない」ことを共有し、「ラグビーがみんなのスポーツ」であることを示唆する。
・文中の(A)(B)は、次の活動で取り扱う。

⑤ 自分が何か失敗したときにどのような言葉をかけられると安心するかを考える。

⑥ リオにはヒカルの姿が見えなかったのに、なぜリオがパスをしたのかを考える。

⑦ 決して足が速くないヒカルがどうして足の速いリオを助けることができたのか、ヒカルのトライが生まれるまでの過程を想像する。

・初めに考えた自己紹介文は、ここまでの学習を通して変更してもよいことを伝える。

・他者が自己紹介をしているときに傾きながら聞いたり、終わったあとに拍手をしたりして、認め合える雰囲気づくりをする。